

ルソー『エミール』の名言紹介

ルソー『エミール』は名言にあふれています。じっくりと読んでみたくなればぜひ原典を、気軽に触れてみたい方は苦野一徳さんの『『エミール』を読む』を手にお取りください。



「一日に百回ころんでもいい。それはけっこうなことだ。」

それだけはやく起きあがることを学ぶことになる。」

「一日じゅう、飛んだり跳ねたり、遊んだり、走りまわったりしているのが、なんの意味もないことだろうか。」

一生のうちでこんなに充実した時はまたとあるまい。」

「子ども時代は理性の眠りの時期だ。」

「子どもにふさわしい唯一の道徳上の教訓(中略)、

それはだれにも害をあたえないということだ。」

「農夫のように働き、哲学者のように考えなければならない。」

出典:ルソー『エミール(上)(中)』岩波書店、1962

子どもの村ってどんな学校？



◎自己決定 ◎体験学習 ◎個性尊重

感情面でも、知性の面でも、そして人間関係の面でも自由な子どもたちの育成を目指しています。そのために、衣食住などの身近なテーマから具体的な目標を話し合いで設定し、仲間と協力して取り組むプロジェクトを学びの中心にしています。ほかにも、クラスに学年の壁がない、学校のルールや行事は全校集会で決める、宿題もテストもない、イギリスで活動する…など、これまでとは異なった方針をもつ新しい学校です。1992年に和歌山県で「きのくに子どもの村小学校」が誕生。福井県、福岡県北九州市、山梨県、長崎県にも相次いで開校し、現在は小・中・高等専修学校合わせて11校で600人以上の子どもが楽しく学んでいます。

<申し込み方法> しめきり：1月31日(金)

下の用紙にご記入の上、FAX(093-452-2652)または郵便にてお申し込みいただくか、メールやQRコードを利用される場合は下の内容をご連絡ください。また、お返事が1週間以内でない場合はご連絡ください。

ふりがな 名前	
お申し込み人数	大人()名、子ども()名※講座に参加されるお子様の人数をご記入ください
茶話会への参加	※講演会終了後、講師・学校職員および参加者のみな様と1時間ほどおしゃべりを楽しむ時間を設けさせていただきます。参加を希望される場合は下の参加するにチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない
住所 ※市区町村まで	
代表者さま 連絡先	※つながりやすい番号・メールアドレスをご記入ください。 TEL: MAIL:
送迎バスの利用	<input type="checkbox"/> 利用する <input type="checkbox"/> 利用しない(自家用車) ※駐車場は平尾台自然観察センターをご利用ください。 【行き】13:00モノレール企救丘駅発()名 ※乗降場所:ファミリーマートの反対側 【帰り】15:40(1便)学校発 企救丘駅行き()名 16:45(2便)学校発 企救丘駅行き()名※2便は茶話会参加者向けです
託児・フリースペースの利用について 定員:6名程度 ※先着順	当日、3歳以上小学生未満のお子さまを託児スペースでお預かりできます。保険に加入しますので、その費用として1人300円ご負担いただきます。また、小学生以上のお子様が過ごされる無料のフリースペースも設けています。希望される場合は、お子様の人数・ご年齢をご記入ください。後日お返事いたします。 <input type="checkbox"/> 託児を利用する(子ども 名: 才/ 才/ 才) <input type="checkbox"/> フリースペースを利用する(子ども 名: 才/ 才/ 才)

申込・問い合わせ先:北九州子どもの村小学校・中学校

住所:〒803-0180 北九州市小倉南区平尾台 2-5-24

TEL 093-452-2602 / FAX 093-452-2652

E-mail kitakyushu@kinokuni.ac.jp